たしかめて。火を消してから　次のこと

『春の火災予防運動』
3月1日(金)～7日(木)

期間中、毎日午後9時から30秒間サイレンを鳴らし、火災予防を呼びかけます。

寝たばこは絶対やめよう

ストーブは、燃えやすいものから離して使おう

ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消そう

お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所で協力しよう

住宅用消火器を備えよう

寝具や衣類からの火災を防ぐため防炎製品を使用しよう

住宅用火災警報器を設置しよう

火災件数は横ばい。損害額は激増！

平成13年中の火災件数は65件で、前年と同数でしたが、建物火災で多くの損害額が発生しました。また、依然として放火による火災も多く発生しています。日ごろから家の周囲に燃えやすい物を置かないよう心掛けてください。また、出火原因であるガスコンロの消し忘れ、たばこの不始末などは、普段から注意していれば防げるものがほとんどです。「ついうっかり」をなくし、火を使用しているときは、決してその場を離れないようにしましょう。

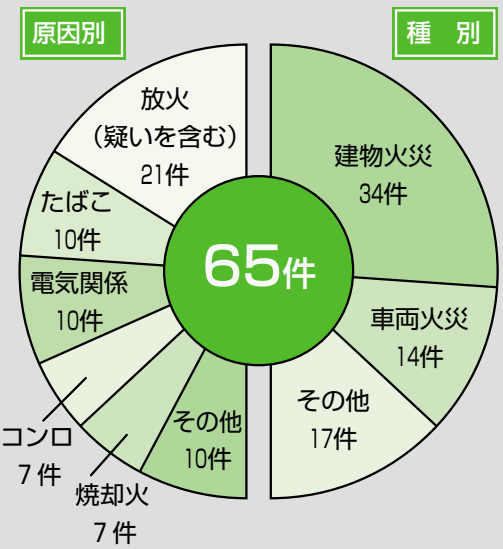
また、屋外でごみなどの焼却による火災も多く発生しています。ごみなどの野焼きはしないでください。

火災は、いつどんな形で身にふりかかってくるか分かりません。思いがけないところから火の手が上がることも…。

こまめな点検と注意で、火災から「我が家」を守りましょう。地域や家庭から火を出さない・出させない環境づくりを行い、「火の用心」に努めてください。

火災予防に関する問い合わせ
▼消防本部予防課
（☎〈75〉2460）

平成13年中の火災件数



損害額	平成13年	平成12年
	6億8786万円	1億5597万円
	前年に比べ5億3189万円の増加	